

# 第210期 中間報告書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第210期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の業績を取りまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、米国で緩やかな回復が続いたものの、中国など新興国で成長が鈍化し、欧州では債務危機を背景に景気の停滞感が強まりました。またわが国経済は、東日本大震災の復興需要や政策効果に伴う内需拡大等により、景気は緩やかな回復傾向を辿ったものの、海外の景気減速の影響等により期後半にかけて足踏み状態となりました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、物流合理化の影響等により、また不動産業界においては、賃貸オフィスビルの空室率が改善せず一部に賃料の低下が見られるなど、引き続き厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは、東日本大震災による顧客の物流拠点見直し等に対応するとともに積極的な営業活動を推進し、物流部門では、医

薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産部門では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流部門で、倉庫・陸上運送の両事業において医薬品等の取扱が堅調に推移したものの国際運送取扱事業において貨物取扱量が減少したため、不動産部門で、賃貸用商業施設での原状回復工事収入の計上等により収入が増加したものの、全体として前年同期比36億6千2百万円(3.7%)減の952億3千2百万円となりました。また営業原価は、物流部門において貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少し、物流、不動産の両部門において施設賃借費、減価償却費が減少したほか、コスト管理の徹底及び業務の効率化に努めたこともあり、全体として前年同期比36億7千2百万円(4.2%)減の840億2千9百万円となり、販売費及び一般管理費は、連結子会社における費用の表示方法変更等により、同3億1千4百万円(6.5%)減の44億9千5百万円となりました。

このため、営業利益は、物流及び不動産の両部門で増益となったので、全体として前年同期比3億2

千4百万円(5.1%)増の67億7百万円となり、経常利益は、受取配当金の増加もあり、同5億6千6百万円(7.6%)増の80億2千8百万円となりました。また四半期純利益は、固定資産処分損等の特別損失が増加したものの、前年同期比7千6百万円(1.9%)増の41億1千万円となりました。

今後の世界経済は、米国で緩やかな回復が見込まれるものの、中国など新興国では成長の鈍化傾向が続き、欧州では景気が停滞するものと予想されます。またわが国経済は、引き続き東日本大震災の復興需要が見込まれるものの、海外経済の下振れや円高の影響等により景気の減速感が強まるものと思われれます。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、物流合理化の影響等により、また不動産業界においては、需給の緩みや競争の激化等により、厳しい状況が続くものと思われれます。

このような事業環境の下、当社グループは、現中期経営計画[2010-2012]に沿い、国内外一体のロジスティクス事業及びビル賃貸を中心とする不動産事業の拡充等により持続的な成長を図ります。また、

富士物流(株)等及びJupiter Global Limited等とのシナジーの早期創出に取り組むほか、東日本大震災の影響による物流及び不動産事業の中長期的な変化に的確に対応します。



第210期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の中間配当金は、当期を含めた当面の当社業績見通しを勘案して、過般の取締役会において前期中間配当金と同額の1株につき6円と決議いたしましたので、お手許にお届け申し上げます。

なお、当期の期末配当金は、特別の事情がない限り、前期末配当金と同額の1株につき6円とし、年間配当金は前期と同額の1株につき12円とさせていただきます。

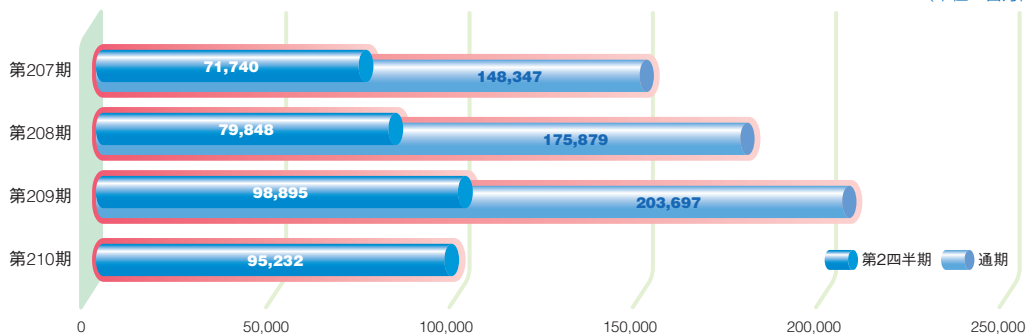
今後ともなにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

取締役社長 岡本哲郎

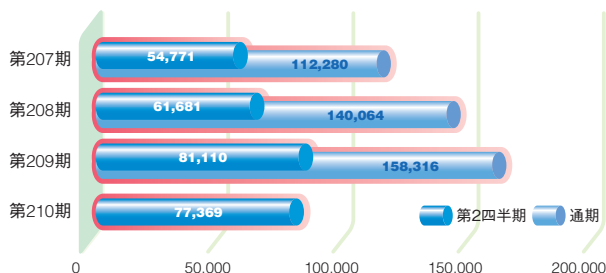
# 営業収益の推移（連結）

(単位：百万円)



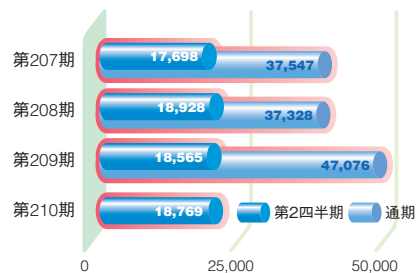
## 物流部門

(単位：百万円)



## 不動産部門

(単位：百万円)



## 部門別内訳

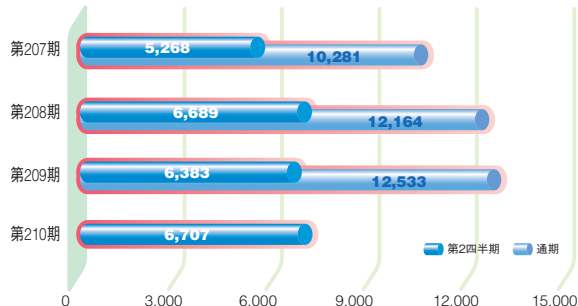
区 分	第207期 第2四半期	第208期 第2四半期	第209期 第2四半期	第210期 第2四半期
物 流 部 門	54,771 百万円	61,681 百万円	81,110 百万円	77,369 百万円
倉庫事業	13,153	13,443	18,298	18,246
陸上運送事業	11,951	12,842	20,321	19,957
港湾運送事業	8,599	9,782	8,703	8,753
国際運送取扱事業	15,768	20,128	24,825	21,691
そ の 他	5,298	5,484	8,962	8,720
不 動 産 部 門	17,698	18,928	18,565	18,769
不動産賃貸事業	15,367	16,508	15,860	15,598
そ の 他	2,331	2,419	2,705	3,171
部門間取引消去	△ 729	△ 761	△ 780	△ 906
合 計	71,740	79,848	98,895	95,232

(注) 部門間取引消去は、物流部門と不動産部門の営業収益に含まれる部門間取引分の消去である。

## 利益の推移（連結）

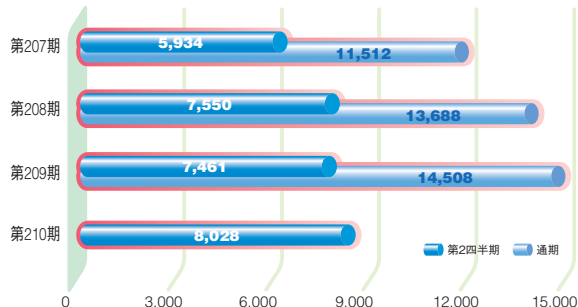
### 営業利益の推移

(単位：百万円)



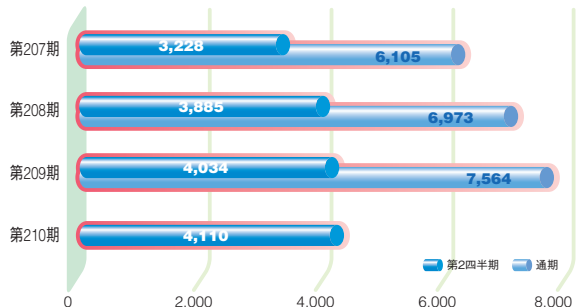
### 経常利益の推移

(単位：百万円)



### 純利益の推移

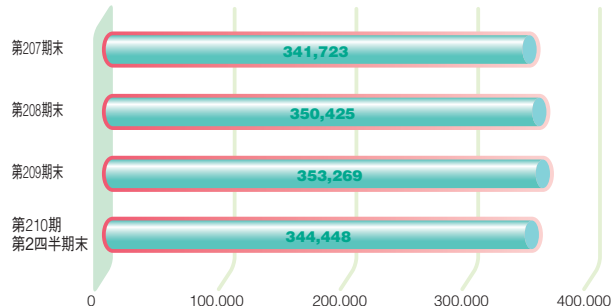
(単位：百万円)



## 資産の推移（連結）

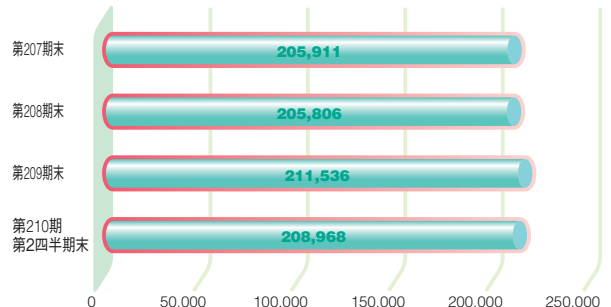
### 総資産の推移

(単位：百万円)



### 純資産の推移

(単位：百万円)



- (注) 1 営業利益及び経常利益について、第208期が増加したのは、物流部門の業績回復に加え、富士物流株式会社及び同社子会社10社が第2四半期末から当社の連結子会社に加わったこと等によるものである。
- 2 営業利益及び経常利益について、第209期が増加したのは、上記1に加え、首都圏の分譲マンション販売があったこと等によるものである。



# トピックス

## 中国に投資性会社を設立

当社は、中国・上海市に当社全額出資の投資性会社である三菱倉庫(中国)投資有限公司(以下「新会社」)を設立し、平成24年9月から営業を開始しました。

投資性会社は、通常の外資系企業に比べて資金調達や投資の自由度が高く、中国国内において資本金や海外からの借入金による投資、傘下企業からの業務受託、傘下企業の統括管理などの業務を行うことが認められています。

新会社は、上海市において約4万㎡の大型配送センターを取得することとしています。

当社は、新会社を通して新規投資を行うとともに、新会社を中国における物流事業統括会社として、現地の当社子会社(上海菱華倉庫運輸有限公司・上海菱運国際貨運有限公司・菱陽国際貨運代理(深圳)有限公司)をその傘下企業とし、当社ブランドによる営業力強化、経営・管理の効率化を一層推し進めることにより、物流事業の拡充を図ってまいります。

## 新会社の概要

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| (1) 会社名    | 三菱倉庫(中国)投資有限公司         |
| (2) 本社所在地  | 中国・上海市                 |
| (3) 主な事業内容 | 中国における投資、事業会社(傘下企業)の管理 |
| (4) 設立年月日  | 平成24年8月1日              |
| (5) 資本金    | 250百万元(当社全額出資)         |

## 神戸・ハーバーランドに「神戸アンパンマン子どもミュージアム&モール」が来春開業

当社と神戸アンパンマンミュージアム&モール有限責任事業組合は、当社が所有する神戸・ハーバーランド内モザイクガーデン敷地において、平成25年4月を目途に「神戸アンパンマン子どもミュージアム&モール」を開業することで合意しました。当社が同社専用施設を建設して賃貸し、同社が運営にあたります。

アンパンマンは子供たちに人気のあるアニメキャラクターで、子供だけでなく保護者も含めた多くの方々に親しまれ、愛されています。

同施設は、こうしたアンパンマンの世界を見て、触れて、遊べる体験型施設であり、現在全国に3施設ありますが、西日本では初となります。

同施設開業により、神戸・ハーバーランドが幅広い世代で賑わう一層魅力のある街となることが期待されます。



「神戸アンパンマン子どもミュージアム&モール」(イメージ図)

### 「神戸アンパンマン子どもミュージアム&モール」施設概要

(1) 建設予定地	神戸市中央区 モザイクガーデン敷地内
(2) 規模・構造	鉄骨造3階建
(3) 延床面積	約5,600㎡
(4) 施工期間	着工 平成24年8月 竣工 平成25年3月(予定) 開業 平成25年4月(予定)



## 第2四半期連結貸借対照表

## 第2四半期連結損益計算書

(平成24年9月30日現在)

(平成24年4月1日から  
平成24年9月30日まで)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	[ 80,338 ]	流動負債	[ 49,844 ]
現金及び預金	32,427	支払手形及び営業未払金	19,309
受取手形及び営業未収金	30,218	短期借入金	16,041
有価証券	8,500	未払法人税等	2,692
販売用不動産	2,701	取締役員与引当金	20
繰延税金資産	2,021	その他	11,780
その他	4,529	固定負債	[ 85,635 ]
貸倒引当金	△ 60	社債	29,000
固定資産	[ 264,109 ]	長期借入金	8,728
有形固定資産	( 171,065 )	長期預り金	23,529
建物及び構築物(純額)	97,717	繰延税金負債	7,103
機械装置及び運搬具(純額)	2,911	退職給付引当金	16,349
土地	66,069	役員退職慰労引当金	200
建設仮勘定	1,729	その他	723
その他(純額)	2,636	負債合計	135,479
無形固定資産	( 14,429 )	(純資産の部)	
借地権	7,722	株主資本	[ 189,151 ]
のれん	1,768	資本金	22,393
その他	4,939	資本剰余金	19,617
投資その他の資産	( 78,614 )	利益剰余金	147,840
投資有価証券	70,029	自己株式	△ 700
長期貸付金	666	その他の包括利益累計額	[ 17,874 ]
繰延税金資産	2,962	その他有価証券評価差額金	19,934
その他	5,231	為替換算調整勘定	△ 2,059
貸倒引当金	△ 32	少数株主持分	[ 1,941 ]
投資損失引当金	△ 243	純資産合計	208,968
資産合計	344,448	負債純資産合計	344,448

科 目	金 額
	百万円
営業収益	[ 95,232 ]
倉庫保管料	10,804
倉庫荷役料	7,442
陸上運送料	19,957
港湾荷役料	8,752
国際運送取扱料	21,691
不動産賃貸料	16,148
その他	10,436
営業原価	[ 84,029 ]
作業運送委託費	39,363
人件費	16,722
施設賃借費	3,882
減価償却	6,012
その他	18,048
営業総利益	11,202
販売費及び一般管理費	4,495
営業外利益	6,707
営業外収益	[ 1,728 ]
受取利息及び配当金	1,168
持分法による投資利益	260
その他	299
営業外費用	[ 408 ]
支払利息	378
その他	30
経常利益	8,028
特別利益	[ 100 ]
固定資産処分益	11
固定資産受贈益	55
施設解約補償金	33
特別損失	[ 1,547 ]
固定資産処分損	577
投資有価証券評価損	892
投資損失引当金繰入額	77
税金等調整前四半期純利益	6,582
法人税等	2,435
少数株主損益調整前四半期純利益	4,146
少数株主利益	35
四半期純利益	4,110

(単位未満切捨)

(単位未満切捨)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦



## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成24年4月1日から  
平成24年9月30日まで)

科 目	金 額	
	百万円	
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,028	⑧
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,684	⑨
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,247	⑩
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	
現金及び現金同等物の増加額	12,097	
現金及び現金同等物の期首残高	27,416	
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,514	

(単位未満切捨)

### ①資産合計

主として保有株式の時価低下に伴い「投資有価証券」が減少したため、前期末比88億2千1百万円の減少となった。

### ②純資産合計

四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したものの、保有株式の時価低下に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したため、前期末比25億6千7百万円の減少となった。

### ③営業収益

物流部門で、倉庫・陸上運送の両事業において医薬品等の取扱が堅調に推移したものの国際運送取扱事業において貨物取扱量が減少したため、不動産部門で、賃貸用商業施設での原状回復工事収入の計上等により収入が増加したものの、全体として前年同期比36億6千2百万円(3.7%)の減少となった。

### ④営業原価

物流部門で貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少し、物流、不動産の両部門において施設賃借費、減価償却費が減少したほか、コスト管理の徹底及び業務の効率化に努めたこともあり、全体として前年同期比36億7千2百万円(4.2%)の減少となった。

### ⑤営業利益

物流及び不動産の両部門で増益となったので、全体として前年同期比3億2千4百万円(5.1%)の増加となった。

### ⑥経常利益

受取配当金の増加もあり、前年同期比5億6千6百万円(7.6%)の増加となった。

### ⑦四半期純利益

前年同期比7千6百万円(1.9%)の増加となった。

### ⑧営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保、前期末のマンション販売代金の回収等により、180億2千8百万円の増加となった。

### ⑨投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出等により、46億8千4百万円の減少となった。

### ⑩財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払等により、12億4千7百万円の減少となった。

# 当社グループの概要 (平成24年9月30日現在)

## 三菱倉庫(株)



### 連結子会社 (50社)

東菱倉運輸(株)	神菱港運(株)
埼菱サートワーク(株)	内外フオワーディング(株)
D P ナットヤサービスク(株)	九州菱倉運(株)
東京ダイヤ情報システム(株)	博菱港運(株)
三菱倉庫運輸システム(株)	西菱邦海運(株)
菱二トフォーディング(株)	佐菱サ一ビス(株)
京浜内外三菱企業物流(株)	国三三菱倉庫会社(株)
東富土重機運輸(株)	州三三菱倉庫会社(株)
富土物流オペレーションズ(株)	欧州物流ヨーロッパ会社(株)
富土物流サ一ビス(株)	上海菱華倉庫運輸有限公司
富土物流サ一ビス(株)	※三菱倉庫(中国)投資有限公司
富土物流サ一ビス(株)	富土国際貨運(中国)有限公司
富土物流サ一ビス(株)	富土物流(大連保税區)有限公司
富土物流サ一ビス(株)	富土物流(上海)有限公司
富土物流サ一ビス(株)	香港三菱倉庫会社(株)
富土物流サ一ビス(株)	富土物流(香港)会社(株)
富土物流サ一ビス(株)	泰國三菱倉庫会社(株)
富土物流サ一ビス(株)	インドネシア三菱倉庫会社(株)
富土物流サ一ビス(株)	富土物流マレーシア会社(株)

ダイヤビルテック(株)
横浜ダイヤビルマネジメント(株)
中興開発(株)
名古屋ダイヤビルテック(株)
大阪ダイヤビルテック(株)
神戸ダイヤサービス(株)
神戸ダイヤメンテナンス(株)
※(株) タ ク ト

(注) ※印は当期から連結子会社へ組入れ

### 持分法適用会社 (3社)

日本コンテナ・ターミナル(株)	Jupiter Global Limited
株 草 津 倉 庫	

#### 主要な事業内容

##### 物流部門

倉庫事業	寄託を受けた物品の倉庫における保管及び出入庫荷役等を行う事業
陸上運送事業	貨物自動車による運送、利用運送等を行う事業
港湾運送事業	港湾において沿岸荷役・船内荷役等を行う事業
国際運送取扱事業	国際間の物品運送の取扱(国内における海運貨物取扱を含む。)を行う事業
不動産部門	不動産の売買・賃貸借・管理及び建設工事の請負・設計・監理等を行う事業

# 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

本店及び支店	本店：東京都中央区 支店：東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡
設立年月日	1887年(明治20年)4月15日
資本金	22,393,986,570円
発行済株式総数 (発行可能株式総数)	175,921,478株 (440,000,000株)
従業員数	当社 857名(他社への休職出向者180名は含まれていない。ほかに臨時従業員87名並びに当社グループ内及び当社グループ外からの出向・派遣受入者560名がいる。) 連結 4,496名(当社グループ外への休職出向者74名は含まれていない。ほかに臨時従業員1,282名及び当社グループ外からの出向・派遣受入者889名がいる。)

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,051千株	7.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,710	6.7
明治安田生命保険相互会社	9,707	5.5
東京海上日動火災保険株式会社	7,775	4.4
三菱地所株式会社	7,331	4.2
キリンホールディングス株式会社	6,921	3.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,728	2.1
旭硝子株式会社	3,315	1.9
三菱商事株式会社	3,205	1.8
株式会社竹中工務店	3,010	1.7

- (注) 1 株式会社三菱東京UFJ銀行は、上表のほかに当社株式1,500千株を議決権を留保した退職給付信託として信託設定している。  
2 持株比率は自己株式(576,541株)を除いて算出している。

## 取締役及び監査役

役名	氏名	担当又は主な職業
取締役会長	番 尚 志	
※取締役社長	岡 本 哲 郎	
常務取締役	堺 沢 真	工務・港運事業・不動産事業担当
常務取締役	米 山 浩 二	国際輸送事業担当
常務取締役	橋 本 有 一	経理・情報システム・内部監査担当
常務取締役	渡 部 能 徳	倉庫事業担当
※常務取締役	松 井 明 生	総務・広報・人事・企画担当、人事部長
取締役	横 原 稔	三菱商事株式会社特別顧問
取締役	根 本 二 郎	日本郵船株式会社最高顧問
取締役	三 木 繁 光	株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問
取締役	入 江 賢 次	工務部長
取締役	法 貴 正 人	横浜支店長
取締役	高 山 和 彦	名古屋支店長
取締役	宮 崎 敬 典	神戸支店長
常任監査役(常勤)	渡 辺 徹	
常任監査役(常勤)	泉 道 夫	
監査役	山 田 洋 之 助	弁護士
監査役	原 田 俊 教	共同倉庫株式会社常務取締役
監査役	堀 内 三 郎	公認会計士

- (注) 1 ※印は代表取締役を示す。  
2 取締役のうち横原 稔、根本二郎、三木繁光の3氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所及び株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両証券取引所に届け出ている。  
3 監査役のうち泉 道夫、山田洋之助、堀内三郎の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、株式会社東京証券取引所及び株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両証券取引所に届け出ている。

# 株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会権利行使株主  
 及び期末配当受領株主確定日 3月31日  
 定時株主総会 6月  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 1単元の株式の数 1,000株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お問合せ先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711  
 公告方法 電子公告  
 公告掲載場所：当社ホームページ  
 (http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/)   
 ただし、事故その他やむを得ない事由により  
 電子公告によることができないときは、日本  
 経済新聞に掲載して行います。  
 上場取引所 東京証券取引所第一部  
 大阪証券取引所第一部  
 証券コード 9301

## 株式に関する手続きのご案内

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続、ご照会等の内容	お問合せ先	
◎郵便物等の発送と返戻に関するご照会 ◎支払期間経過後の配当金に関するご照会 ◎株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711
◎上記以外のお手続、ご照会等	お取扱いの証券会社等へお申出下さい。	

### 特別口座に記録された株式

お手続、ご照会等の内容	お問合せ先	
◎特別口座から一般口座への振替請求 ◎単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取請求・買増請求 ◎住所・氏名等のご変更 ◎特別口座の残高照会 ◎配当金の受領方法の指定	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711  手続書類のご請求は、以下の方法でも承っております。 電話（フリーダイヤル）： 0120-244-479（24時間自動音声応答） 三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページ (http://www.tr.mufg.jp/daikou/) からのダウンロード
◎郵便物等の発送と返戻に関するご照会 ◎支払期間経過後の配当金に関するご照会 ◎株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

 **三菱倉庫株式会社**  
 Mitsubishi Logistics Corporation

〒104-0033  
 東京都中央区新川一丁目28番38号  
 電話 東京 (03) 6705-6500 (代表)



最新の情報は当社ホームページ  
 (http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/)   
 でご覧いただけますのでご利用下さい。

